

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第２次）の総合評価
（最終報告）

水戸市まち・ひと・しごと創生推進本部会議

1 評価対象期間

2020（令和2）年度～2023（令和5）年度

2 「水戸のまち創生」重点プログラムについて

「水戸のまち創生」重点プログラムについては、本戦略で掲げる目指す姿「若い世代が活躍する 持続的に成長するまち 水戸 ー働きたくなる 住みたくなる 子育てをしたくなる 人が育つー」の実現に向けて、若い世代が水戸で学び、働き、安心して暮らし続けられる環境の創出に取り組んできたところである。

達成目標として設定した「20歳～39歳の社会動態」については、テレワークの普及や地方移住への関心の高まりをはじめとする社会情勢の大きな変化にも後押しされ、2020（令和2）年に「246人の増」と目標値の「250人の増」に近い数値となり、2021（令和3）年には「415人の増」と目標値を大きく上回った。その後、2022（令和4）年から2023（令和5）年にかけては、目標値を下回っているものの、転入超過の状態を維持している。

若い世代の移住・定住においては、働く場の確保や雇用環境の充実をはじめ、子育て環境、生活の利便性など、様々な要因が影響していることから、引き続き、ニーズを的確に捉えた幅広い事業に取り組むことにより、まちの魅力を高め、若い世代の更なる移住・定住を促進する必要があるものと評価する。

【重点プログラムの推移】

項目	基準値 (2018(平成30)年)	実績値 (2020(令和2)年)	実績値 (2021(令和3)年)	実績値 (2022(令和4)年)	実績値 (2023(令和5)年)	目標値 (2023(令和5)年)
20～39歳の社会動態 (生産年齢人口の概ね前半世代)	▲23人	246人	415人	99人	39人	250人

3 各基本目標の総合評価

基本目標Ⅰ 生き生きと働ける仕事を創る

(1) 取組の概要

具体的施策1 地域経済をけん引する産業競争力の強化

本戦略の計画期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やエネルギー価格の高騰等により、地域経済を取り巻く環境は非常に厳しいものであった。そのため、事業継続緊急支援金やエネルギー価格高騰対策事業者緊急支援金の支給など、緊急的な事業者支援にスピード感を持って取り組んだ。

また、新製品・新技術開発や販路拡大に関する支援をはじめとした、きめ細かな事業者支援に取り組んだほか、企業誘致の推進に向けては、必要経費を支援する補助制度等の活用促進を図るとともに、市街化調整区域における開発行為等の許可基準に関する条例を改正するなど、産業用地の確保に取り組んだ。

観光産業の強化については、物産展の開催等による観光特産品の魅力向上や地酒、水府提灯等の伝統産業の振興等を図った。

さらには、持続可能な農業の確立に向けて、農業の生産性を高める農地集積や新規就農者への支援、農産物のブランド化を推進した。

具体的施策2 多様な雇用の場の創出、地域雇用の促進

水戸商工会議所をはじめとする創業支援事業者と連携したセミナー等の開催や補助金による支援を行いながら、創業・スタートアップの支援に取り組んだほか、まちなかの空き店舗ツアーを開催するなど、空き店舗を活用した事業活動を支援し、にぎわいの創出を図った。

また、UJI ターンや地域雇用の促進に向けて、市内企業を紹介するWEBサイトを開設し、企業の魅力を分かりやすくまとめてPRしたほか、県や周辺市町村と連携しながら、地元出身の学生等を対象とした企業説明会を開催した。

(2) 数値目標及びKPIについて

数値目標のうち、「市民所得」については、2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会活動や経済活動の縮小の影響もあり、大幅に減少したものの、2021（令和3）年度には、基準値を大きく上回る結果となった。「生産年齢人口の就業率」については、横ばいであり目標の達成には至らなかった。

KPIのうち、「市内製造品出荷額」については、2020（令和2）年に大きく減少したものの、その後は順調に伸びており、2022（令和4）年には目標を上回る水準となっている。「企業誘致による立地事業所数」については、目標値には届いていないものの、補助制度の活用や用地確保の取組の結果、基準値と比較して15事業所の増加となっており、概ね順調に推移している。「創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数」についても、目標値を大幅に上回る実績値で推移している。

【数値目標の推移】

項目	基準値 (2018(平成30)年度)	実績値 (2020(令和2)年度)	実績値 (2021(令和3)年度)	実績値 (2022(令和4)年度)	実績値 (2023(令和5)年度)	目標値 (2023(令和5)年度)
市民所得	912,938百万円 (2016年度)	952,981百万円 (2018年度)	961,737百万円 (2019年度)	908,546百万円 (2020年度)	994,284百万円 (2021年度)	0.6%増／年 940,656百万円 (2021年度)
生産年齢人口の 就業率	69.3% (2015年)	69.3% (2020年) →	—	—	—	72.0% (2020年)

【KPI の推移】

具体的施策	KPI	目標値 2023(令和5) 年度	基準値 2018(平成30) 年度		2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度
(1) 地域経済をけん 引する産業競争力の 強化	市内製造品出荷額 (年間) 単位: 百万円	156,254	144,529 (2017年)	期待値	149,219	151,564	153,909	156,254
				実績値	126,471	150,965	160,314	2025年6月頃
				進捗状況	遅れ ↘	概ね順調 →	順調 ↗	— —
	企業誘致による立地事 業所数(累計) 単位: 事業所	36	15	期待値	23	27	32	36
				実績値	20	21	25	30
				進捗状況	概ね順調 →	概ね順調 →	概ね順調 →	概ね順調 →
(2) 多様な雇用の場 の創出、地域雇用の 促進	創業支援事業計画推進 事業等による新規創業 件数(累計) 単位: 件	595	323	期待値	432	486	541	595
				実績値	496	596	740	924
				進捗状況	順調 ↗	順調 ↗	順調 ↗	順調 ↗
	事業承継した事業所等 の件数(累計) 単位: 件	17	—	市町村別データが非公表となったた め、KPI の項目としては用いない。				

(3) 評価

基本目標Ⅰについては、新型コロナウイルス感染症やエネルギー価格の高騰等の影響はあったものの、全体としておおむね目標値を達成することができており、企業誘致や創業・スタートアップ支援をはじめとする各種取組の効果が表れているものと考えられる。

若い世代の移住・定住の促進に向けては、若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出が重要であることから、引き続き、創業・スタートアップの促進や企業誘致、中小企業の成長支援による雇用機会の拡充に取り組むとともに、持続可能な経済発展による豊かなまちの実現に向けて、あらゆる分野の産業強化に向けた支援に一層力を入れて取り組み、地域経済の更なる活性化を図る必要があるものと評価する。

基本目標Ⅱ 新たな人の流れを生み出す

(1) 取組の概要

具体的施策1 戦略的観光の振興による交流の拡大

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けながらも、開催手法を工夫して各種イベントを開催するとともに、各種 SNS や YouTube 等の多様なツールを活用しながら、戦略的な観光情報の発信に取り組んだ。

また、コンベンション誘致活動の推進については、学会主催者をターゲットとした営業活動やオンライン開催等の新たなスタイルに対応する助成の導入など、時代のニーズを捉えた誘致活動を推進し、G7 茨城・水戸内務安全大臣会合をはじめとする多様なコンベンションを開催したほか、水戸市民会館の開館やアダストリアみとアリーナの機能強化など、市内コンベンション施設の充実も図った。

それらの取組とあわせて、まちなかの回遊性を高めるため、シェアサイクルの導入等にも取り組み、市内におけるにぎわいや新たな交流の創出に取り組んだ。

具体的施策2 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

水戸芸術館における質の高い公演の開催や多彩な芸術文化に親しむことができる芸術祭の開催等を通して、芸術文化の魅力を高めるとともに、新たに開館した水戸市民会館、水戸芸術館及び京成百貨店の3施設で構成される Mitori0 (ミトリオ) 地区において、地域団体や商工団体等と連携してにぎわいの創出に取り組んだ。

また、プロスポーツチームと連携した共同イベントの開催や水戸黄門漫遊マラソンの開催等を通して、スポーツ文化の魅力向上を図った。

具体的施策3 自然、歴史資源を生かした魅力ある交流拠点の形成

千波湖の水質浄化や桜まつりにあわせたライトアップを実施したほか、千波公園（黄門像広場周辺地区）拠点整備に向けた検討を進めるなど、偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりに取り組んだ。

また、歴史資源が集積する弘道館・水戸城跡周辺地区においては、2019（令和元）年度に完成した水戸城大手門に加え、二の丸角櫓の復元及び土塀の整備を実施するとともに、各種イベントを開催するなど、歴史資源を生かした魅力づくりに取り組んだ。

(2) 数値目標及び KPI について

本戦略の計画期間と重なるように新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、緊急事態宣言等による行動制限が繰り返されたことから、数値目標として掲げた「観光交流人口」及び「市内 IC における降車台数」ともに目標値を下回っている。

KPI についても、「大規模スポーツ大会の開催・誘致数」を除いては、目標値に達していないものの、実績値の推移をみると、コロナ禍からの回復にあわせて、ほとんどの項目において改善傾向にある。

【数値目標の推移】

項目	基準値 (2018(平成30)年度)	実績値 (2020(令和2)年度)	実績値 (2021(令和3)年度)	実績値 (2022(令和4)年度)	実績値 (2023(令和5)年度)	目標値 (2023(令和5)年度)
観光交流人口	3,676,200人	1,426,000人	1,616,100人	2,044,800人	2,461,900人	4,500,000人
市内ICにおける 降車台数 (年間下車台数)	7,740,667台	6,311,690台	6,759,217台	7,270,578台	7,473,201台	7,890,000台

【KPI の推移】

具体的施策	KPI	目標値 2023(令和5) 年度	基準値 2018(平成30) 年度		2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度
(1) 戦略的観光の振興による交流の拡大	市内外国人観光客数 (年間) 単位: 人	100,000	64,000 (2018年)	期待値	78,400 (2020年)	85,600 (2021年)	92,800 (2022年)	100,000 (2023年)
				実績値	算出不可 (2020年)	算出不可 (2021年)	算出不可 (2022年)	算出不可 (2023年)
				進捗状況	—	—	—	—
	誘致活動によるコンベンション開催数(年間) 単位: 件	166	146	期待値	154	158	162	166
				実績値	57	53	58	59
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓
(2) 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出	水戸芸術館入場者数 (市外事業を除く)(年間) 単位: 人	265,000	213,565	期待値	214,420	214,849	215,279	265,000
				実績値	28,632	49,724	99,805	147,856
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓
	大規模スポーツ大会 (東日本大会以上)の開催・誘致数(年間) 単位: 件	13	10	期待値	11	12	12	13
				実績値	1	7	16	13
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	順調 ↑	順調 ↑
(3) 自然、歴史資源を生かした魅力ある交流拠点の形成	偕楽園の入込観光客数 (年間) 単位: 人	1,200,000	974,040 (2018年)	期待値	1,064,424 (2020年)	1,109,616 (2021年)	1,154,808 (2022年)	1,200,000 (2023年)
				実績値	430,389 (2020年)	369,800 (2021年)	285,075 (2022年)	414,762 (2023年)
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓
	弘道館の入込観光客数 (年間) 単位: 人	150,000	87,164 (2018年)	期待値	112,298 (2020年)	124,866 (2021年)	137,433 (2022年)	150,000 (2023年)
				実績値	37,725 (2020年)	51,925 (2021年)	55,245 (2022年)	70,343 (2023年)
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓

(3) 評価

基本目標Ⅱについては、数値目標及び KPI とともに、2020（令和2）年度に大きく減少しつつも、実績値が年々上昇している項目が多く、2023（令和5）年度は水戸黄門まつりや水戸黄門漫遊マラソンをはじめとする各種イベントをコロナ禍以前と変わらない規模で開催できた。さらには、水戸市民会館において、2023（令和5）年7月の開館からわずか半年で年間目標である60万人を超える来館者を記録するなど、人の流れについては、コロナ禍からの回復の兆しが見えていると考えられる。

そのため、にぎわいの創出による更なる地域経済の活性化に向けて、引き続き、歴史や自然、芸術文化、スポーツなど、水戸ならではの多彩な地域資源を生かしながら、こどもから大人まで、誰もが楽しめる交流拠点づくりを進めるとともに、それらの交流拠点を活用した魅力あるイベントや大規模コンベンションの積極的な誘致・開催を推進し、国内外に向けて水戸の魅力を広く発信していく必要があると評価する。

基本目標Ⅲ 結婚・出産・子育てを応援する

(1) 取組の概要

具体的施策1 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実

小・中学校新入生応援金の支給や市立中学校の給食費無償化等を実現するとともに、伴走型相談支援やこども・子育て関連手続のDXにも取り組むなど、子育て世帯に寄り添った支援の充実を図った。

また、保育士の確保や放課後学級及び放課後子ども教室における学習支援等の充実を図り、安心してこどもを預けられる環境づくりを進めたほか、コロナ禍で不安を抱える子育て世帯の不安軽減のため、子育て支援・多世代交流センターを中心として、親子同士の交流の場づくりや育児相談を実施するなど、地域における子育て支援の充実に取り組んだ。

具体的施策2 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

児童生徒に1人1台ずつ配備したタブレット端末を積極的に活用し、情報活用能力の育成を図るとともに、AIドリルを活用するなど、自主的・計画的に家庭学習に取り組める環境づくりを進めた。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業時においても、児童生徒の学びを保障するため、全校でオンライン授業を実施した。

さらには、水戸の歴史や文化についての学びを取り入れた、郷土愛を育む教育の推進や学校図書館における読書環境の充実、学校給食における食育の推進など、豊かな人間性を育む教育を展開し、水戸の未来をリードする人材の育成に取り組んだ。

具体的施策3 移住・定住の推進

新たに開設した本市独自の移住サイト「水戸暮らし」や都内で開催された移住セミナーへの参加を通して、本市での魅力ある暮らしや移住支援制度等を紹介するなど、移住検討者への情報発信の強化に取り組むとともに、移住相談体制の充実や移住支援金の積極的な活用を図った。

また、県央地域の市町村と連携し、大学生等を対象とした2週間の短期移住体験事業の実施や県央地域の暮らしの魅力をまとめた冊子の作成、都内移住フェアへの出展等に取り組み、本市及び県央地域への移住促進を図った。

(2) 数値目標及びKPIについて

数値目標については、「合計特殊出生率」が低下傾向にあるほか、「子育て世帯の社会動態」についても、転出超過の状況が続いており、目標値との差も大きくなっている。

KPIのうち、「子育て支援・多世代交流事業の利用者数」については、新型コロナウイルス感染症対策として、予約制による少人数での運用としたことなどが大きく影響し、目標値を下回っているものの、利用者数は徐々に回復しており、今後さらなる増加が見込まれる。

「学力診断のためのテストの各教科における平均点」については、2021（令和3）年度に基準値を下回ったものの、2023（令和5）年度には、小学校においては、基準値まで持ち直し、改善傾向にある。

「開放学級待機児童数」については、引き続きゼロを維持しているほか、その他の項目についても着実に実績を積み重ね、概ね順調に推移している。

【数値目標の推移】

項目	基準値 (2018(平成30)年度)	実績値 (2020(令和2)年度)	実績値 (2021(令和3)年度)	実績値 (2022(令和4)年度)	実績値 (2023(令和5)年度)	目標値 (2023(令和5)年度)
合計特殊出生率	1.52	1.39	1.39	1.34	1.35	1.68
子育て世帯の社会動態 (18歳以下の子を持つ20 ～39歳の世帯)	▲107世帯	▲11世帯	▲27世帯	▲55世帯	▲126世帯	50世帯

【KPI の推移】

具体的施策	KPI	目標値 2023(令和5) 年度	基準値 2018(平成30) 年度		2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度
(1) 安心して子どもを 生み育てることので きる環境の充実	子育て支援・多世代交 流事業の利用者数(市 民センター子育て広場 等を含む)(年間) 単位:人	130,000	105,615	期待値	115,369	120,246	125,123	130,000
				実績値	17,631	23,780	33,184	56,517
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓
	開放学級待機児童数 単位:人	0	111 (年度末)	期待値	0	0	0	0
				実績値	0	0	0	0
				進捗状況	順調 ↑	順調 ↑	順調 ↑	順調 ↑
(2) 未来を切り拓く力 を育む水戸スタイル の教育の推進	学力診断のためのテスト(県)の各教科にお ける平均点(県平均との 比較) 単位:点	[小6]+2.0 [中3]+1.0	[小6]+0.3 [中3]+1.0	期待値	[小6]+1.4 [中3]+1.9	[小6]+1.6 [中3]+2.3	[小6]+1.8 [中3]+2.6	[小6]+2.0 [中3]+3.0
				実績値	[小6]ー [中3]ー [中2参考]ー	[小6]ー1.4 [中3]算出不可 [中2参考]ー1.0	[小6]ー1.3 [中3]算出不可 [中2参考]ー0.7	[小6]+0.3 [中3]算出不可 [中2参考]ー1.0
				進捗状況	ー ー	遅れ ↓	遅れ ↓	遅れ ↓
	小・中学校校舎トイレの 洋式化率 単位:%	100	44.1	期待値	66.5	93.6	93.6	100
				実績値	63	94	94	100
				進捗状況	概ね順調 →	順調 ↑	順調 ↑	順調 ↑
(3) 移住・定住の推 進	まちなか住みかえ支援 事業利用件数(累計) 単位:件	299	43	期待値	145	196	247	299
				実績値	73	125	189	210
				進捗状況	遅れ ↓	概ね順調 →	概ね順調 →	概ね順調 →
	わくわく茨城生活実現 事業における支援件数 (年間) 単位:件	10	ー	期待値	10	10	10	10
				実績値	0	1	17	28
				進捗状況	遅れ ↓	遅れ ↓	順調 ↑	順調 ↑

(3) 評価

基本目標Ⅲについては、各施策に位置付けた事業の着実な推進が図られているものの、数値目標として設定した「合計特殊出生率」及び「子育て世帯の社会動態」が、目標値を下回っていることから、若い世代のニーズを捉えながら、より一層子どもを生み育てやすい環境づくりを進めるとともに、若い世代の移住・定住の促進に取り組んでいく必要がある。

そのため、「経済的負担の軽減」、「相談・支援の充実」、「こどもが活動しやすい環境づくり」を柱とした子育て世帯への支援の充実を図るとともに、若い世代の移住・定住の促進に向けては、本市の魅力を高めていくことはもとより、それらの魅力について、SNSをはじめとする多様なツールを活用しながら、若い世代のニーズに合わせて効果的に発信するシティプロモーションに一層力を入れて取り組んでいく必要があると評価する。

基本目標Ⅳ 誰もが安全に安心して健やかに暮らせる、個性輝くまちを創る

(1) 取組の概要

具体的施策 1 健やかに暮らせる環境づくり

市休日夜間緊急診療所における 365 日の診療体制の継続や小児・周産期・救急医療を担う医療機関の運営支援のほか、医師修学資金貸与事業等による将来の医療人材の育成などに取り組んだ。新型コロナウイルス感染症への対応については、新たに設置した市保健所を中心に、感染状況の把握、感染者の健康観察のほか、各施設や市民に感染予防を周知するなど、市民が安心して医療を受け、健やかに暮らせる環境の充実を図った。

また、在宅医療と介護連携による切れ目のない支援体制の構築やいきいき交流センターにおける高齢者の社会参加の促進による生きがいづくりなど、生涯にわたって生き生きと健やかに暮らせる環境づくりを進めた。

さらには、全ての人が安心して移動できる交通体系の実現に向けて、路線バスの運行支援や市内 11 地区における水都^{すいっと}タクシーの運行等にも取り組んだ。

具体的施策 2 安全に安心して暮らせる環境づくり

都市下水路の整備や排水路の整備など、浸水被害に即効性のある対策を講じるとともに、地域と連携した防災訓練の実施や災害時要配慮者への支援の充実、防災情報の伝達体制の強化等を図り、ハード・ソフト両面での防災対策に取り組んだ。

また、空き家等への対策として、適正管理を求める指導や無料相談会等を実施したほか、消費者を取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、消費者の自立を支援し、被害を防止するため、出前講座や講演会をはじめとした啓発活動にも取り組んだ。

具体的施策 3 活躍できる環境づくり

町内会・自治会への加入促進に向け、町内会・自治会カードの導入や対象店舗の拡大等に取り組み、地域コミュニティの活性化を図る取組を推進したほか、NPO やボランティア団体と連携した協働事業の実施やこみっとフェスティバルの開催を通して、市民等との協働によるまちづくりを推進した。

また、本市と大学、民間事業者間における連携協力体制を構築し、幅広い分野において地域の発展や市民サービスの向上に取り組んだほか、デジタル技術を活用して窓口手続の簡略化を図るなど、市民の利便性を高めるデジタル化の取組を進めた。

(2) 数値目標及び KPI について

数値目標の「社会増（人口動態）」については、基準値時点では転出超過であったものの、2020（令和 2）年以降は転入超過の状態を維持しており、2020（令和 2）年から 2021（令和 3）年にかけては、目標値を上回る結果となった。2023（令和 5）年は目標値を下回っているものの、おおむね順調に推移している。

KPI のうち、「安心・安全見守り隊参加団体・事業者数」及び「産・学・官連携事業数」は順調に推移している。「自主防災組織による防災訓練等の参加者数」や「福祉ボランティアの活動件数」等については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標値を下回ったが、2022（令和 4）年度から 2023（令和 5）年度にかけては、大きく実績値が回復している。

【数値目標の推移】

項目	基準値 (2018(平成30)年)	実績値 (2020(令和2)年)	実績値 (2021(令和3)年)	実績値 (2022(令和4)年)	実績値 (2023(令和5)年)	目標値 (2023(令和5)年)
社会増(人口動態)	▲177人	429人	799人	178人	270人	400人

【KPI の推移】

具体的施策	KPI	目標値 2023(令和5) 年度	基準値 2018(平成30) 年度		2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度
(1) 健やかに暮らせる環境づくり	水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数(累計) 単位: 団体等	196	178	期待値	185	189	193	196
				実績値	182	193	193	211
				進捗状況	概ね順調 →	順調 ↗	順調 ↗	順調 ↗
	路線バス利用者数(一日当たり) 単位: 人	35,794	34,765	期待値	35,176	35,381	35,588	35,794
				実績値	29,862	19,489	24,318	26,906
				進捗状況	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘
(2) 安全に安心して暮らせる環境づくり	空家等件数 単位: 件	793	835	期待値	818	810	801	793
				実績値	757	775	804	902
				進捗状況	順調 ↗	順調 ↗	概ね順調 →	遅れ ↘
	自主防災組織による防災訓練等の参加者数(年間) 単位: 人	15,000	14,039	期待値	14,423	14,616	14,808	15,000
				実績値	2,789	2,362	8,084	11,920
				進捗状況	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘
(3) 活躍できる環境づくり	福祉ボランティアの活動件数(年間) 単位: 件	375	353	期待値	362	366	371	375
				実績値	144	215	318	357
				進捗状況	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘	遅れ ↘
	産・学・官連携事業の数(累計) 単位: 件	433	349	期待値	383	399	416	433
				実績値	402	413	458	504
				進捗状況	順調 ↗	順調 ↗	順調 ↗	順調 ↗

(3) 評価

基本目標Ⅳについては、コロナ禍においても、医療体制の維持・確保をはじめ、防災対策などの各施策に位置付けた個別事業を着実に推進したことにより、本市における暮らしの魅力が高まり、社会増（転入超過）につながっているものと考えられる。

今後は、この流れを一層加速させていくため、医療、福祉、防災、公共交通など幅広い分野において、市民や民間事業者等との連携を深め、多様化する市民ニーズや社会情勢の変化にも的確に対応しながら、効果的に各事業を推進する必要がある。

また、市民の利便性を高め、豊かな生活を実現するツールの一つとして、デジタル技術を積極的に活用しながら、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりを進めていく必要があるものと評価する。